



高橋博幸

公正中立な行政運営の実現を

質問

地方自治体には自主自立が求められ、その実現の過程ではより公正で開かれた行政運営が求められている。

制作決定前の段階から、その達成目的や達成度評価の検討改善等、いわゆる政策審議という視点が大切だ。

公人である町長・議員の行政行為、議会活動には中立性や公正性が求められるが、公正で開かれた町行政運営が行われているか。具体的事例を挙げて伺う。

8月14日の成人式の来賓人選については片手落ちの部分があるのではないかと懸念している。

町長答弁

公人である以上、中立性・公平性、これは町長と

して当然守るべき姿勢であると私も思っている。

成人式の来賓について、今年是一名の県議から出席いただいたが、『今まで県議として参加したことがなかったのでお願いをした』と、本人から出席依頼があった。

もう一人の県議にどういう対応をしたかについて私はちよつと聞いていないので、担当から答弁させる。政策決定前の段階から政策審議が必要で、町民に良くわかっていただけるようにという意見だが、言われるまでもない当然のことである。

私も町として取り組むことが是非かの判断基準として、町民のためになるかならないか、の視点で審査判断をしたいと考えている。

教育課長答弁

県議のほうから『参加したい』という話で私も聞いている。

地元の成人式は今まで県議等は特別お願いしない方向できていた。しかし『出たい』ということであれば、これは拒むこともできない』と考えている。

ではそこでもう一人の県議についてはどうかということだが、実は来年も呼ぶつもりはなく、そういう事ははっきりしていないから、わざわざ今回だけお願いするのはいかがかな、という観点から私の判断で呼ばなかった。

質問

『本人の申し出があったから』というのでは片手落ちである。

一方の呼ばれなかった県議は『成人式のことには気になってはいたが、呼ばれなければ出席できない』ということであった。

課長の補足答弁は、請われれば格別拒む理由はないということだが、成人式は湯沢町を担う成人を祝う公式な行事である。

少なくとも呼ぶなら両方を呼ぶ、呼ばないなら両方呼ばない、としないと片手落ちだ。こうした判断がどうしてできなかったのか残念である。

こうしたことは将来の誤解を招かないためにも大切なことである。

これからは町長が良かれと思ってもなかなかそうでないケースもあるだろうから、町長の周りには副町長ほか執行部がたくさんいるわけだから、きちんとアナを働かせた中で政策判断すべきで、その中には厳しく言う人も必要

だ。こうした中できちんとやっておればこうした事態にはならずに済むはずである。

町長答弁

この件は本当に私が一言課長につけ加えておけば良かった。

前々から言われていることだが、職員は優秀だけれど町長が悪いからとよく身にしみたので、今後十分注意していきたい。



8月14日に行われた19年度湯沢町成人式